

七高SSH通信

\\石川県立七尾高等学校SSH推進室//

R5/5/19

令和5年度

第2号

七尾高校ではSSH事業の一環として、次の様な授業があります。

授業は探究活動を中心としたもので、バラエティに富み、中には高度なものも含まれていますが、どの活動も七尾高校でしか体験できない貴重な内容となっています。

授業の一部を紹介したいと思います。

3年	自然科学研究Ⅲ (2)	課題研究FⅢ (2)	課題研究BⅢ (2)	
2年	リサーチコミュニケーションⅡ (1)	自然科学研究Ⅱ (2)	課題研究FⅡ (2)	課題研究BⅡ (2)
1年	リサーチコミュニケーションⅠ (1)	自然科学研究Ⅰ (3)	課題研究FⅠ (2)	課題研究BⅠ (2)
	理数科 (9単位)	普通科 普通コース (6単位)	普通科 文系フロンティアコース (6単位)	

自然科学研究Ⅰ（第1学年理数科）

「科学実験基礎講座」（4月21日）



科学実験基礎講座は、安全な実験方法を理解したり、論理的な手順で実験方法を考えたり、これからの実験や実習に必要となってくる基本的な実験技術を習得することを目的として、理数科1年生で年度当初に必ず行われている講座です。まず最初に「3mLと5mLの目盛りがついた試験管から、4mLの水を測り取る方法」を自分で考え、グループ内で話し合い、その方法を簡潔にわかりやすく発表し、実際に計測したり、マイクロピペットや精密はかり/電子はかり、SparkVue（センサー）の使い方など、実験器具の取り扱い方について学んだりしました。そして、その使い方の説明書を書いてみました。



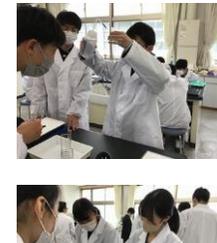
マイクロピペットの使い方



精密はかり/電子はかりの使い方



SparkVue（センサー）の使い方



グループでの話し合い



融合プロジェクト発表会

5月6日（土）に、本校第1体育館で、3年生が「探究」において、2年次の3学期より取り組んできた「融合プロジェクト」の発表会が行われました。

融合プロジェクトとは、文系フロンティアコース、普通コース文系、普通コース理系、理数科の生徒がクラス横断で一つのグループを組み、能登の課題についての解決策の提案を行うものです。生徒たちは、テーマについて、協働して取り組み、その成果を発表しました。

発表は、それぞれのグループが、1年生から行ってきた探究活動の集大成として、しっかりとした発表を行いました。



～生徒の感想～

- データだけで終わるのではなく、新たなプランを考えていて、そのプランのメリットもデメリットも両方吟味されているのが感じられました。
- 提案で終わらずに実際に実行することができれば、能登地域がより活性化すると思った。
- 同じテーマでも、グループによって様々な視点から解決策を考えていておもしろかった。
- 分野が違ってプロジェクトにつながるがあった。人口の流入や産業については、クーポンをつくるという提案が出ていて、自分たちのプロジェクトにも取り入れたいと思った。
- 全クラスが混ざっての発表だったので、さまざまなクラス・グループの特色ある発表を見ることができて面白かった。
- アイデアがすばらしくて、全部取り入れたいくなりました。